

# STNet中期戦略

～「新しい価値を追求し、進化・成長するライフライン」を目指して～

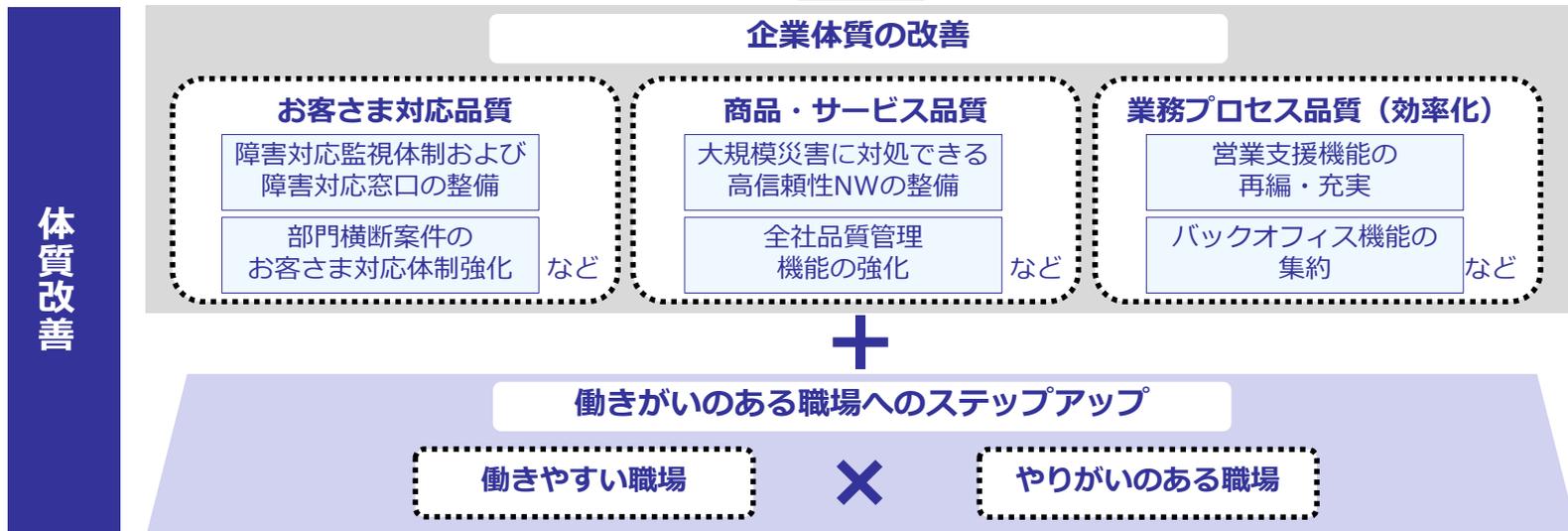
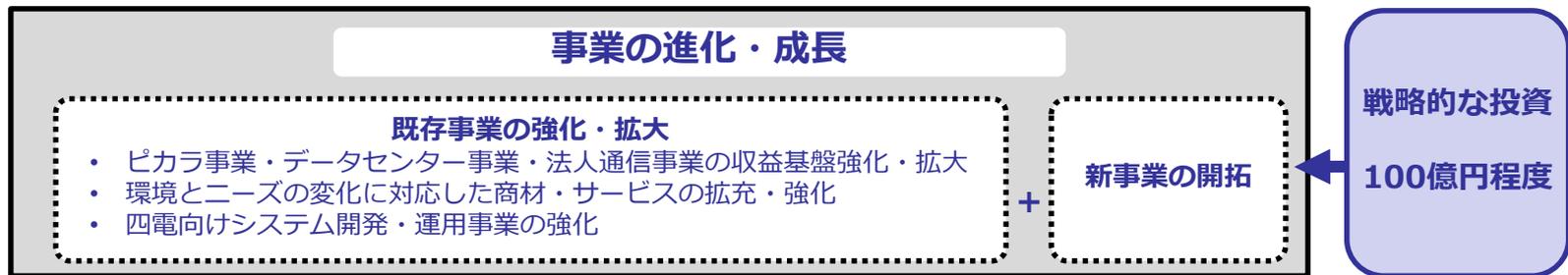
---

2019年 4月 23日

# 中期戦略の概要

- 中期戦略では、5～10年先を見据えた目指す姿として「新しい価値を追求し、進化・成長するライフライン」を掲げ、そこに到達するために、既存事業を進化させるための戦略と、成長が期待できる新事業への展開に向けた方向性を示す。
- 目指す姿に向かって着実に進んでいくためには、会社の体質改善と強化が不可欠であり、企業体質として3つの品質のステップアップ（「お客さま対応品質」「商品・サービス品質」「業務プロセス品質」）と、企業活動の原動力である従業員にとって働きがいのある職場へのステップアップを図る。

## 目指す姿：『新しい価値を追求し、進化・成長するライフライン』



# 目次

---

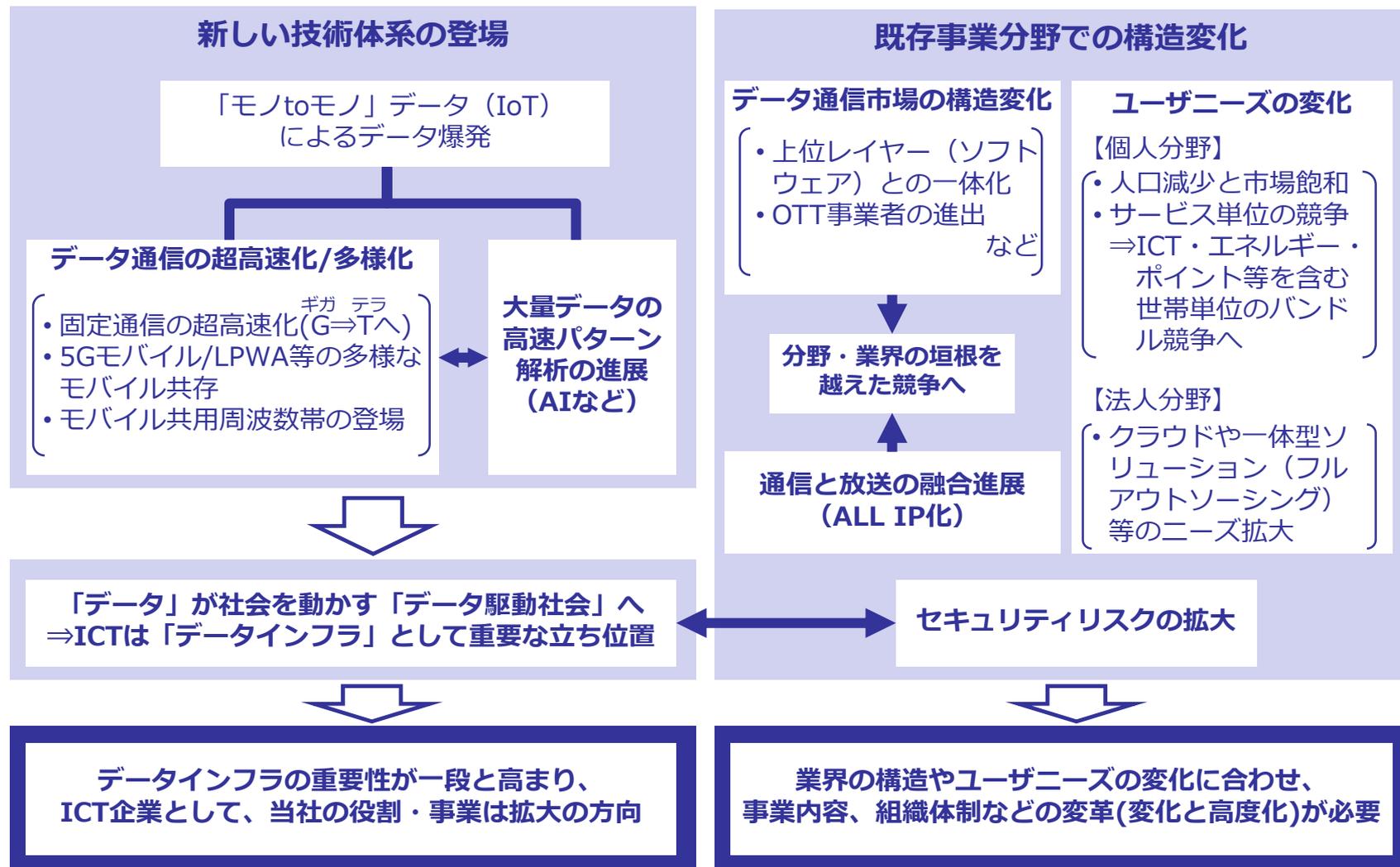
- 1 | 当社を取り巻く環境（現状と今後）
- 2 | 「目指す姿」（5～10年先を見据えて）
- 3 | 中期の事業戦略
- 4 | 数値目標

# 1. 当社を取り巻く環境（現状と今後）

---

# 1. 当社を取り巻く環境／事業構造の変化

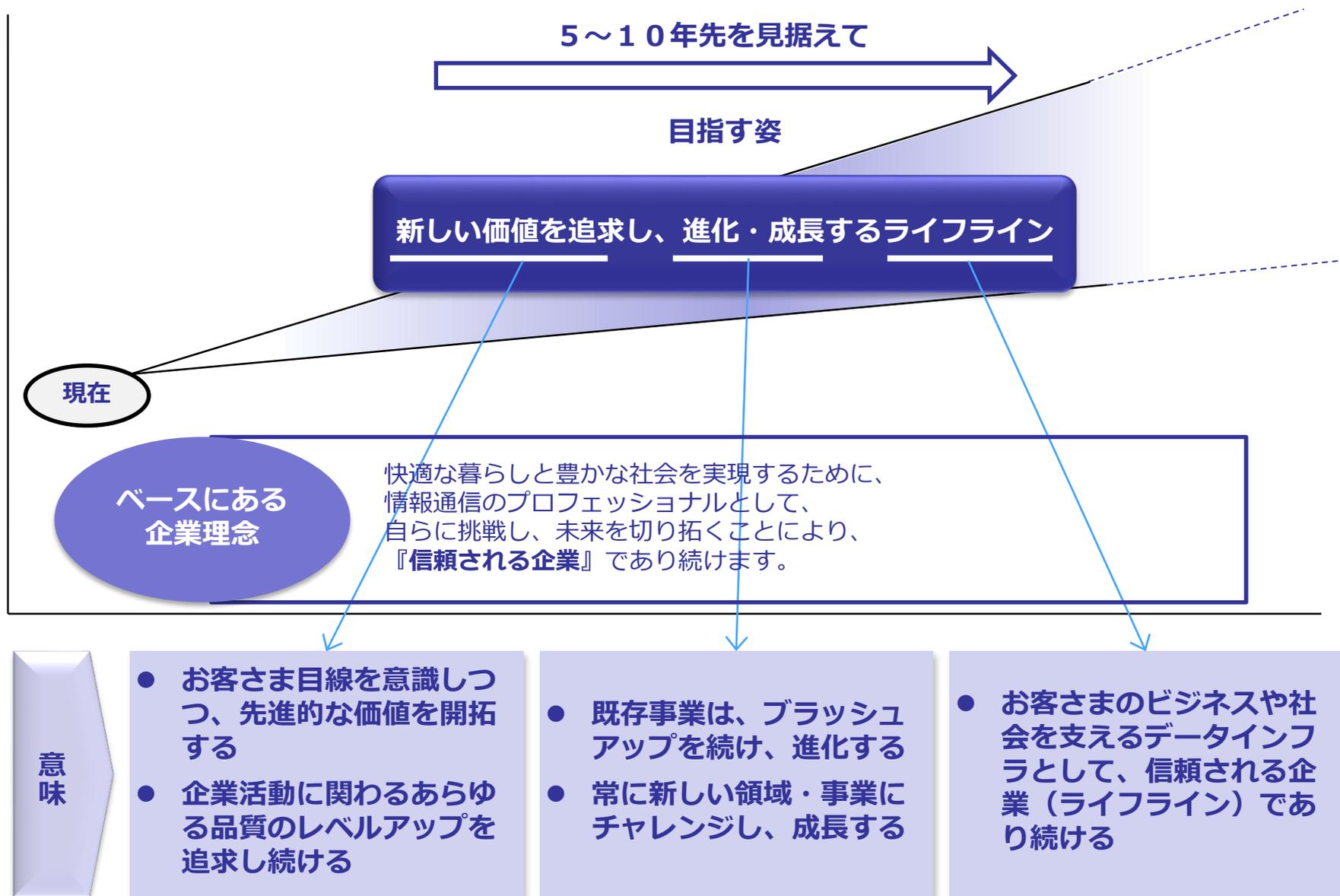
- 社会・生活・産業におけるデジタル化に伴い、データ活用が飛躍的に拡大・発展して行き、「データ駆動社会」の到来が本格化してくるため、それを支えるICT産業（データインフラ）は俊敏な変化と高度化が求められる。



## 2. 「目指す姿」 (5～10年先を見据えて)

---

## 2-1. 当社が5~10年先を見据えて目指す姿



## 2-2. 「目指す姿」に向けた課題

- 「データ駆動社会」到来に伴う厳しい競争の中で生き残っていくには、「常に新しいことに挑戦しつつ、先進的に進化していく」姿勢が最重要である。
- 一方、ICTが社会のデータインフラに進化していく中、事業基盤のライフラインとしての立ち位置や使命はさらに重要度を増していくことになる。このため、企業体質や働く環境を改善しながら、これまで以上にお客さまから信頼される企業（ライフライン）であり続けなければならない。

### 想定される 2つの課題

業界構造やサービス体系の変化に対応するため、事業構造を高度化する必要がある。

さらに複雑化・高度化するお客さまニーズに俊敏に応えていくには、従来の品質管理や業務体制、仕事の進め方等をゼロベースで見直す必要がある。

### 対応

- データインフラ事業で生き残るため、常に新しいことに挑戦し、先進的に進化・成長する姿勢を最大の武器とする。
- 既存事業は、将来に向けた成長の源であり、事業基盤の強化・拡大を図る。
- 新事業は、事業環境を総合的に判断のうえで、大胆かつタイムリーに打ち出す。

- 業務の進め方を根本的に見直し、組織体制のあり方や働く環境等のステップアップを通じて、品質面をはじめとする企業体質改善と、それを支える人材がより能力を発揮できる職場や働く環境を実現する。

### 3. 中期の事業戦略

---

### 3. 中期の事業戦略（基本方針）

中期戦略では、通信からプラットフォーム、システム開発までのサービス提供を最大の強みと位置付け、「今後、事業をどう進化・成長させていくのか」、それを実現するための「企業体質をどう改善していくのか」、それらを支える人材について「働きがいのある職場へのステップアップをどのように図っていくのか」という3つの論点から構成する。

全体を通して、四電グループの一員であることや、協業先・パートナー企業などとの連携・パートナーシップの強化・拡大を重視する。



3つの取り組み

A

事業の  
進化・成長

- 既存事業においては、顧客基盤の維持拡大に加え、更なる高機能化やサービス拡大など環境変化を反映したブラッシュアップを図り、競争力を強化する。
- 「システム」「プラットフォーム（PF）」「通信」の境界を越えて様々なサービスをワンストップで提供し、さらにそれらが融合した新たなサービスへの展開を目指す。
- 新事業については、5Gモバイル関連分野などをはじめとして、M&A等の投資戦略も手法として効果的に組み合わせ、成長領域の開拓を図る。

B

企業体質の改善

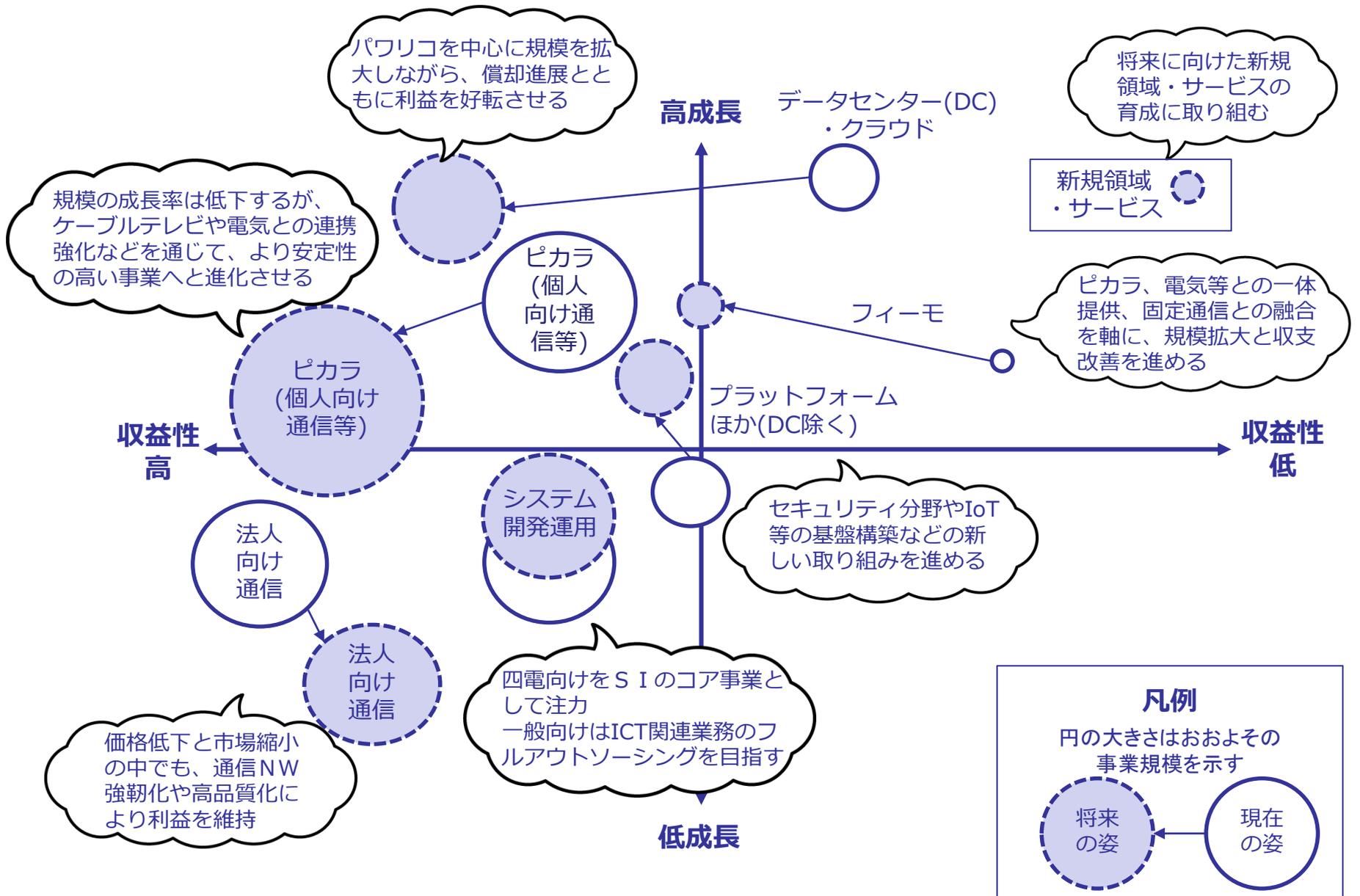
- 抜本的な体質改善に向け、3つの品質の向上を図る。
  - ①お客さま対応品質
  - ②商品・サービス品質
  - ③業務プロセス品質

C

働きがいのある  
職場への  
ステップアップ

- 人材の確保・育成のための制度の整備を行い、社会問題である「働き方改革」に加え、その先にある「働きがい改革」に取り組む。

# A - 1. 事業の進化・成長の方向性 (イメージ)



## ① - 2. 既存事業の取り組み

### 個人向け通信

〔ピカラ  
フィーモ〕

- ピカラのシェアを維持・拡大し、契約数32万件（2023年度末）を目指す。
- 設備共用スキームを軸とした地元ケーブルテレビとの関係について、業務の持続的展開や効率化を目指してさらなる連携強化を図る。
- モバイルを含む個人分野の市場は、FTTH+スマホ+エネルギー+ポイント制といった複数サービスをまとめたバンドルサービス競争へ移行しつつある。そのため、主に一般企業と協同して実施しているバンドルサービスを、四電グループの連携の下強化し、ケーブルテレビ・電気のお客さまに対して一体営業を行うことで、未契約客層の開拓（新たなターゲットへの訴求）を行う。
- フィーモ（格安スマホ）はバンドルの有力商材の一つであり、ピカラ・電気をはじめとする四電グループ内の既存サービスの契約者を有力ターゲットとして契約数拡大を図る。  
目標：フィーモ契約数5万件（2023年度末）

### 法人向け通信

- 市場は縮小傾向にあるものの、今後とも主力事業と位置付け、収益を確保していく。
- 携帯事業者向けをはじめに、事業形態変化に対応したサービスメニューの整備をタイムリーに進める。
- データインフラ事業者の競争力である、高機能で信頼性の高い役務提供を維持・強化するため、次世代通信ネットワークの構築（強靱化、高機能化）投資を戦略的に進める。
- IoT向けLPWA、法人閉域モバイルアクセス、Wi-Fiなど、目的に応じた多様なモバイルアクセス提供を積極的に推進していく。

## ① - 2. 既存事業の取り組み

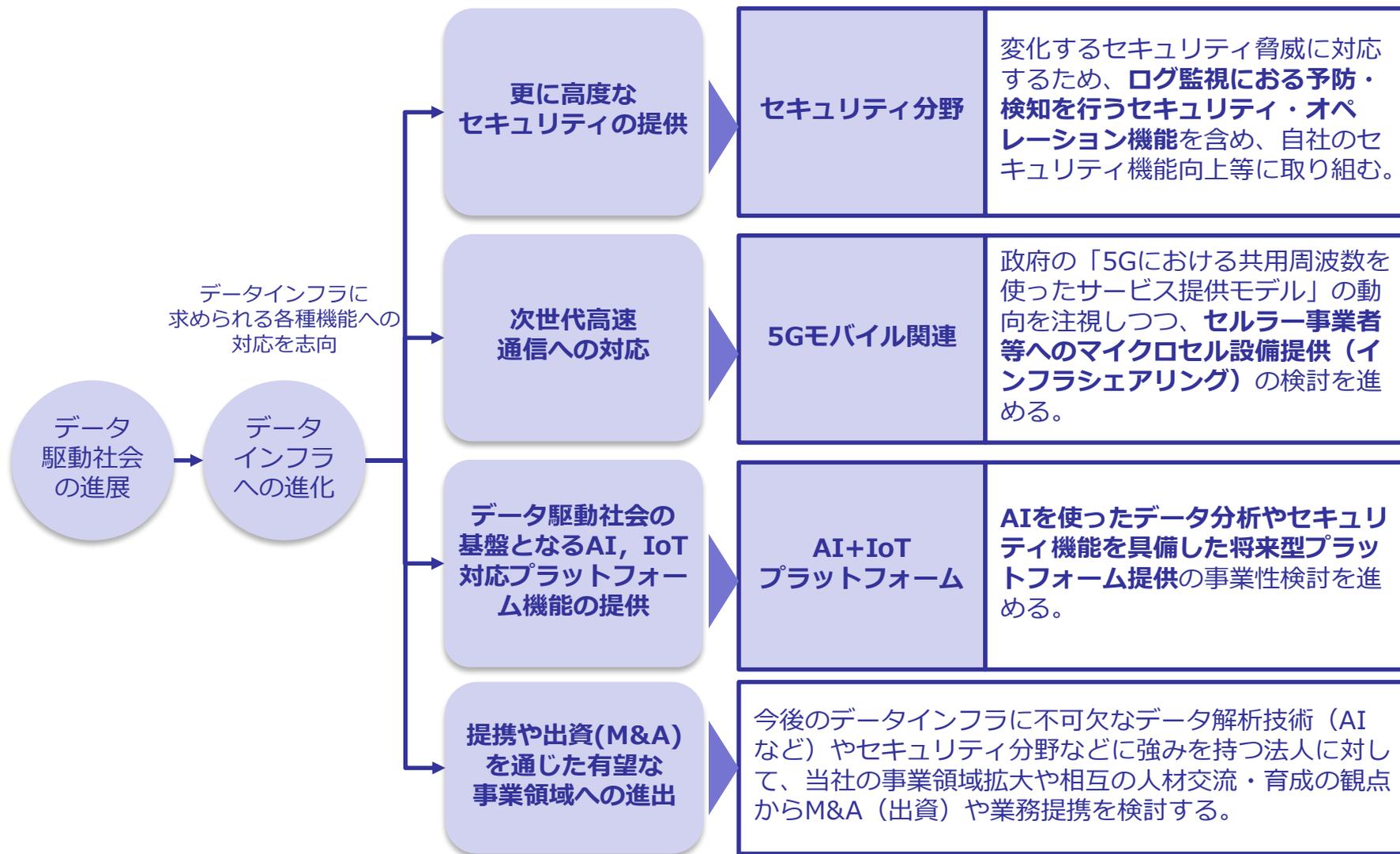
### データセンター & プラットフォーム

- データセンター事業は、パワリコを中心に位置づけ、高品質なファシリティに加えて運用力の強化に注力することで事業規模を着実に拡大していく。  
(2019年11月に2棟目となるS棟竣工予定。2027年度までの満床を目指す)
- パワリコおよび松山データセンターの2拠点への集約により、運用力と採算性を向上する。
- セキュリティ分野を中心にさらなる事業強化・拡大を図る。その一環として、セキュリティ運用・対応力向上を目指したセキュリティ・オペレーションの具体化検討を進める。

### システム開発 運用・保守

- 四電向けのシステム開発を当面の最重要課題と位置付け、業務の再編や人的リソースの集中化などにより、高品質なサービス提供ができる万全の体制を整える。また、首都圏での活動は、最新技術のスキル習得などの人材育成の場と位置付け、成果を四電向けにフィードバックする。
- 一般向けのシステム事業は、四国内の主要なお客さまを対象にして、システム開発業務の商談を契機としたICT関連業務のフルアウトソーシング（一括おまかせ）を目指す。

# ① - 3. 新事業への取り組み（方向性）



研究開発機能の強化により先端技術分野における新たな価値創出や新事業の可能性を追及

## ②. 企業体質の改善

### お客さま対応品質の 向上

- 各サービス毎に独立した監視機能を統合し、監視機能間の連携を強化するとともに、お客さまからの障害に関する問い合わせや、さらに高度な技術相談を一元的かつ迅速に対応できる体制を整備する。
- 当社へフルアウトソーシングするお客さまへの対応品質の向上のため、「お客さま対応窓口機能」を充実・強化する。

など

### 商品・サービス 品質の向上

- 品質管理に関する全社大での取組みを統制するとともに、主管部門の品質管理の取組み状況をモニタリング・アドバイスする部署として、新たに「品質管理部」を設置する。
- 大規模災害にも対処できる高信頼性ネットワークを計画的に整備する。

など

### 業務プロセス品質の 向上

- お客さまへのワンストップ・ソリューションの拡大や、集中支援が必要な大口顧客に対応するため、**販売支援機能の強化と案件のプロジェクトマネジメント体制の強化**に取り組む。
- バックオフィス機能（契約管理、請求・債権管理等）を一元的に実施する「業務部」を新たに設置し、業務品質の向上や、内部統制機能の強化を図る。
- 事業環境の変化に対応した組織・業務内容の見直しや業務の効率化を適宜、柔軟に行う。

など

# ③. 働きがいのある職場へのステップアップ

● 当社の目指す姿へ到達するための原動力は社員であり、その第一歩は、社員の幸福度を高めることにある。このため、一人ひとりが、いきいき社員として活躍できる働きがいのある職場を目指す。

## 【働きがいのある職場とは】

### 働きやすい職場

心身共に健康で、快適に働き続けるための労働条件やオフィス環境などの  
**職場環境の向上**

- 長時間労働がなく、計画的な休暇取得ができる
- 仕事と生活の調和がとれている
- 適正かつ納得感がある処遇である
- 快適なオフィス空間がある

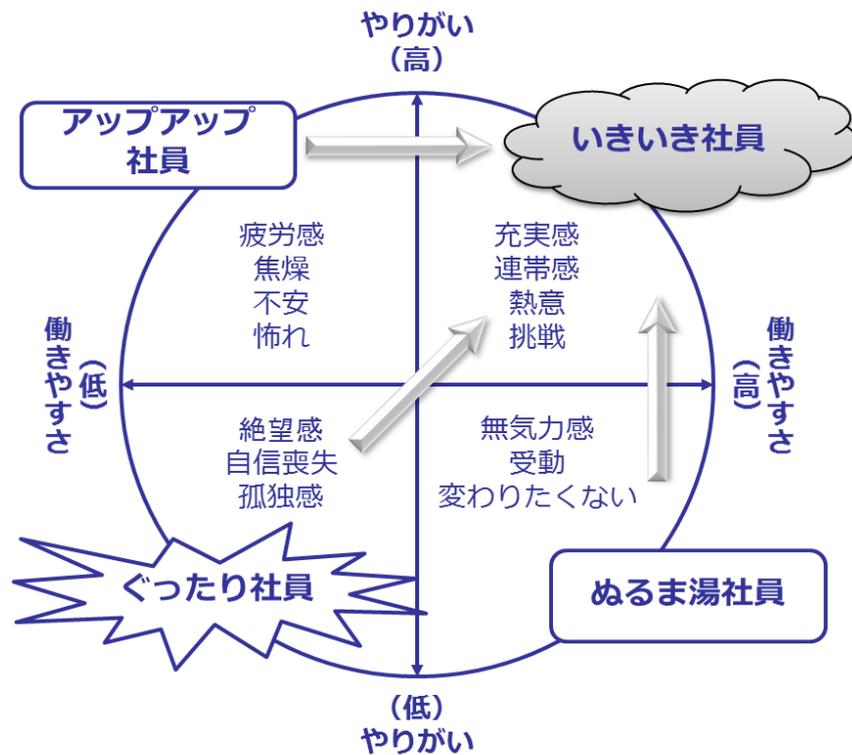


### やりがいのある職場

職場の一体感や上司との信頼関係など、当社で働くことができるよかったと実感できる  
**職場風土の改革**

- マネジメントに対する信頼がある
- 前向きな明るい職場で、仲間との連帯感がある
- 仕事を通じた成長を実感できる
- 仕事への誇りを感じ、職場が自己実現の場である

## 【いきいき社員像】



## 4. 数值目標

---

## 4. 数値目標

---

### 【数値目標】

- 営業利益額 65 億円以上（2023年度）
- 営業キャッシュフロー 470 億円以上（5カ年累計）

### 【経営指標】

- 成長（戦略）投資額 100 億円程度（5カ年累計）